

電気工事店からみた節電の考え方

動力（給水ポンプ）

1 階に受水槽がある場合、受水槽を撤去し節電する。更に、その場所に駐車場やバイク置場を設け、新たな収入源にする。

受水槽の撤去の考え方は次の通りですが、対象は限られるので管理会社にご相談ください。



加圧ポンプ又は揚水ポンプの受水槽を撤去し増圧ポンプに変更する。

- ・ 加圧ポンプは稼働時間が長いので、増圧給水にすると使用電力量(kWh)の節電につながります。更に電子ブレーカーの容量変更を行うと契約電力(kW)が下がるので基本料金も削減できます。【成功報酬は無料交換】
- ・ 揚水ポンプは高架水槽に水を溜める時しかモーターが動かないので増圧ポンプで高架水槽に水を溜めても節電につながりません。
- ・ 高架水槽を使用しない純粋な増圧給水の使用電力量(kWh)は諸条件で前後します。

動力（エアコン）

エントランスのエアコンの使用を取りやめる。エアコンの電源を外し電子ブレーカーの容量変更を行うと契約電力(kW)が下がるので基本料金も削減できます。【成功報酬は無料交換】

動力（その他）

エレベーターや機械式駐車場は、機器の電力(kW)が大きくても稼働時間が短いので 1 ヶ月間の使用電力量(kWh)が少ないので対象外です。

電灯（照明）

お金をかけない方法として、エントランスの照明が全体的に明るいようであれば、ランプを外して間接照明のように明るさの強弱をつける。

廊下の“玄関前の照明”の間引きは、同じ管理費なのに「消灯する家」と「点灯する家」が生じてしまうため、仮に実施しても継続が難しいのが現状です。

ランプの消費電力を少ない LED に変えるのも一つですが、8 年から 10 年で導入費を回収する程度では電気料金の先払いと変わらないので十分に協議してください。

電灯（その他）

電灯の 1 ヶ月間の使用電力量(kWh)のほとんどが照明のため、その他の設備での節電は困難です。